

本講演会では絶滅に瀕しているライチョウを守るため、国や研究者、動物園などの保全への取り組みについてご紹介します

講演会 / 事前申込制



神の鳥ライチョウ

を守る



開催
場所

東京都美術館 講堂
〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

問合せ
先

恩賜上野動物園 教育普及係
TEL:03-3828-5171 FAX:03-3821-2494

後援

公益社団法人日本動物園水族館協会

主催

公益財団法人東京動物園協会

定員

二〇〇名「事前申込制」

対象

年齢制限なし
「中学生以上がわかる内容です」

場所

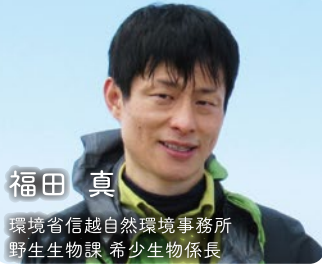
東京都美術館 講堂

日時

二〇二〇年二月十五日【土】
十三時～十六時三〇分

講演1

組織
で守る



福田 真

環境省信越自然環境事務所
野生生物課 希少生物係長

ライチョウ保護増殖事業について

環境省では平成24年度にライチョウ保護増殖事業計画を立ち上げ、平成27年度より本格的に取り組みを開始しました。地域絶滅の恐れがあった南アルプス北部の北岳周辺では、ケージ保護及び捕食者対策事業によって生息数が5年間で3.5倍になりました。令和元年度からは、約半世紀前にライチョウが絶滅した中央アルプスで生息地復活プロジェクトを進めており、近い将来に絶滅危惧のランクを下げるため、保全技術の確立を目指しています。

講演2

生息地
で守る



小林 篤

東邦大学理学部生物学科訪問研究員

高山帯で行われている保全策の現状とこれから

トキやコウノトリとは異なり野生個体が現存しているライチョウでは、この鳥が生息している高山帯現地で様々な保全事業が行われています。これらの保全事業は長年の標識調査に基づいた個体群研究が基盤となっています。今回は、これまでの標識調査から明らかになった日本のライチョウの一生が如何に高山環境へ適応しているのかをお話した後、この研究成果を基に開発された保全対策と成果について紹介します。

講演3

動物園
で守る



吉村 映里

公益財団法人東京動物園協会
恩賜上野動物園 飼育展示課

生息域外保全の取り組み

動物園ではスパールバルライチョウの飼育繁殖技術を基に、2015年より日本産ライチョウの飼育、繁殖に取り組んでいます。高山帯に生息するライチョウを動物園で飼育するためにはより細やかな管理が必要であることがわかり、ライチョウ飼育園館で連携をしながら進めてきました。動物園における生息域外保全について、これまでの歩みと今後の課題について紹介します。

講演4

私たち
が守る



深野 祐也

東京大学大学院農学生命科学研究科
生態調和農学機構

ライチョウの一般公開が市民の関心・行動に与えた影響を大規模ウェブデータから解明する

絶滅危惧種の保全のためには、市民の認知度向上や参加が必要不可欠です。その点、動物園で繁殖した絶滅危惧種の一般公開は、市民への普及啓発活動として大きな効果を持つと期待されます。本発表では、昨年のライチョウ一般公開イベントがどのように市民の認知度や関心に影響を与えたかを、ウェブ上の大規模データを使って多角的に検討した研究を紹介します。この結果がより効果的な普及啓発につながることを期待しています。

総合討論

神の鳥ライチョウを守るために

応募
方法



問合せ先

受付フォームで以下のとおりお申し込みください。

お申込みの際は、@tokyo-zoo.net 及び @form.kintoneapp.com からのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。特に携帯電話からお申し込みの方はご注意ください。なお、お申込み後に自動返信メールが届かない場合は、上野動物園 教育普及係まで電話にてご連絡ください。応募者多数の場合は抽選とし、2月1日[土]までに当選の方にのみ参加証の発送をもってお知らせいたします。

【締切】 2020年1月24日[金] 送信分まで有効

恩賜上野動物園 教育普及係 03-3828-5171 [代表] ※受付時間は8時30分～17時



tokyo-zoo.net

※お申込みの際は外部サイト kintoneapp.com (サイボウズスタートアップス株式会社が管理運営するウェブサイトに) 移動します。今回の講演会参加者募集に際して応募者の方々からご提供いただく個人情報は、サイボウズスタートアップス株式会社が管理するサーバーに厳重に保管し、目的のための使用終了後、すみやかに削除するなど、厳正かつ適正な運用をおこないます。